

オープンキャンパスはネタの宝庫。講義、研究室見学、先生や在校生の話などの内容や感想をメモさせる。大学の場合、最も重要なのは先生の講義と研究室の内容だと思う。「〇〇研究室の〇〇教授の研究に携わりたい」と書ければベスト。(愛知県・松本裕一先生)

本や新聞を読むことで志望先の周辺知識を膨らませる。パンフレットや過去の報告書などをもとにすると底が浅くなりがちなので、遠回りでも関連分野の知識を身につけたほうがいい。(広島県・A先生)



とにかくていねいに面談し、発言をまとめる。それをもとに文章にしてみようと伝える。(埼玉県・石井康仁先生)

「雑談だよ」と言って本音を探る。生徒は「こんなこと言ったら、落ちるのでは?」と本音を言わないことがあるが、実はそれこそが体験を踏まえ説得力があることが多い。(宮城県・及川俊浩先生)



医師を目指すなら「好奇心、向上心、体力…」など、志望職種や志望分野に必要な資質を10以上考えさせる。若干ズレていたり、似たような言葉でもOK。次に「部活動で鍛えたので体力と気力には自信がある」など、体験を振り返って文章に書き出し、志望分野に必要な資質と関連づけて自己PRをまとめる。(北海道・中道洋友先生)

家族の意見や世間の風評などに左右され、自分の考えに自信がもてずに迷っているケースが多い。状況をよく聞いてから、自分のやりたいことに気づけるようにアドバイスする。(神奈川県・B先生)



5年後どうなっていたいかイメージさせる。興味関心・適性を聞き、それを将来どう生かしたいか考えさせる。(静岡県・山口権治先生)

進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：志望理由書が書けない!という
生徒に対するアドバイス&指導法

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載せきれなかったヒントも掲載
キャリアガイダンス.net >> [「進路指導、私の工夫」](#)をチェック!